



金城 好春 議員

東部消防組合への 分担金を問う

答 構成町の財政状況及び予算査定を通して
分担金を決定していく

問 東部消防組合の新年度予算は構成する市町村の分担金では足りず、同組合の財政調整基金を取り崩しての予算編成となった。3町の組合議員全員が「同組合の予算編成は3町の分担金で成り立つようにすべきでないか」と附帯決議を付して新年度予算を可決するという結果となった。町長の見解を問う。

総務部長 本町は平成30年度予算編成により中期財政計画を基本として行っている。普通交付税等の試算で、対前年度比2億円以上の減額となり、財政調整基金を同程度取り崩している。厳しい財政状況であるが、東部消防負担金は前年度並みを確保している。今後同組合の中・長期計画も配慮しながら、構成町の財政状況及び予算査定を通して分担金を決定していく。

問 同組合は向こう10年間の中・長期計画を策定している。

その中に現消防本部庁舎の建て替え計画もある。増額が予想される同組合への分担金に対応するため、役場内に「東部消防組合への分担金を考える編成チーム」を立ち上げることはできないか。

総務部長 一部事務組合分担金は町の予算編成範囲であり、全ての事務事業を含め、財政負担が可能な範囲で決定する。分担金を考える特別なチームは必要ないと考えている。

ハブ対策を問う

問 農家からの話によると宇津嘉山渡嘉天原（とかてんばる）で6匹、屋敷内で1匹、宇宮平の畑で1匹、計8匹のハブを捕獲したと聞いた。平成29年度町内で捕獲したハブの数は何匹か。

総務部長 平成29年度3月7日現在、町内で捕獲したハブは57匹である。

問 ハブの捕獲器は何器あるか。
総務部長 平成30年3月7日現在、79器あり、そのうち38器は観光施設周辺に設置している。41器は町民への貸し出し用として活用している。3月7日現在、貸し出し用ハブ捕獲器41器中22器が貸し出されている。



▲捕獲されたハブ

こんな質問もありました
○JAおきなわ津嘉山経済部付近の交通安全対策を